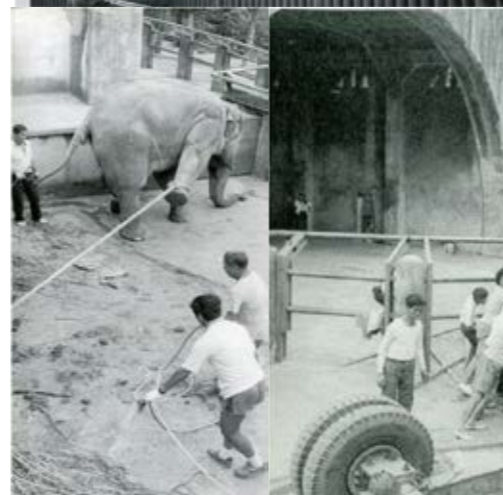


誕生日、ゾウ

鉄の柵のところに立って、ゾウが床の割れ目から器用にピーナッツを拾い上げる様子は多くの人々にとって、最も忘れがたい記憶となりました。最初の誕生日会は1983年に催され、10年以上も続けられました。たくさんの楽しい教育的な活動も一緒に行われました。

サルの島の話

そのころ、人々が口々に、動物園に行くとサルから見られてしまうと話していました。サルの島はフェンスが全くないユニークな展示場で、サルたちはその環境を非常に楽しんでいるかのように見えました。70年代に起こったサルの島での出来事は、サルの社会にある階級制など、動物行動に関する正しい知識を人々が得ることになりました。



新しい場所への引っ越し

1986年9月14日、「圓山」から14.3 km離れた「木柵」にできた新しいすみかへ引っ越す動物たちに別れを告げようと、数十万人の人々が道路沿いに立ちました。パレードには、20台の動物輸送トラックのほか、パトカー、国旗、台北市旗、動物園旗を付けたトラック、医療車、そして動物親善大使の車など計18台以上の車両も加わりました。

圓山の動物園の門から中正記念公園、国立台湾大学、そして新しい木柵にできた動物園の入り口までの道路沿いには特別な娯楽ショーのスポットが作られ、イベントが繰り広げられました。この熱狂的な市民の様子は終生忘れられない出来事となりました。